



受賞作品決定のお知らせ

日本文学研究者ドナルド・キーン先生の功績を継承し、さらに広く伝える役割を果たすとともに、さまざまな世代が日本文学・文化・社会・国際関係・平和について考えるため、公益財団法人ブルボン吉田記念財団(新潟県柏崎市)は「第2回ブルボン吉田記念財団文学・平和アワード」を実施し、このほど13本の入選作品と、特別表彰を決定しました。

表彰式は2025年3月8日(土)、柏崎市市民プラザ波のホールにて開催の予定です。

第2回ブルボン吉田記念財団文学・平和アワードには大学生・一般、高校生、小学生高学年～中学生の3部門に計115作品の応募がありました。11月29日、5人の選考委員による厳正な審査の結果、大学生・一般の部の最優秀賞には滋賀県東近江市の果樹園業、高田智子さん(39)が受賞することになりました。また今回、新たに第2回ブルボン吉田記念財団文学・平和アワード特別表彰を創設。ドナルド・キーン先生を題材・教材にし、授業の中で独自の事前学習やセンター見学を行って作品応募につなげていただいた柏崎市立第一中学校の取組みに対してお贈りすることにいたしました。

<お問い合わせ先>

文学・平和アワード事務局(ドナルド・キーン・センター柏崎) 担当 佐藤

TEL・FAX 0257-28-5755

(～12/27：月・火除く10:00～17:00)

(1/6～：土・日・祝日除く10:00～17:00)

受賞されたみなさん

<大学生・一般の部> 最優秀賞 1 作品 優秀賞 4 作品

最優秀賞	100 年後にも、梅雨残したい	高田 智子	39 歳 果樹園業
		たかた ともこ	滋賀県東近江市
優秀賞	百年後の日本語のために	阿部 松夫	86 歳 無職
		あべ まつお	新潟県柏崎市
優秀賞	ドナルド・キーン先生の島繋がり 平和学・芸能学・文学	長嶋 俊介	75 歳 無職
		ながしま しゅんすけ	新潟県佐渡市
優秀賞	式年遷宮と日本人の死への意識	竹本 美穂	30 歳 日本語教師
		たけもと みほ	三重県伊勢市
優秀賞	アジアと日本と私	難波 理恵	38 歳 無職
		なんば りえ	東京都世田谷区

○最優秀賞／10 万円 ○優秀賞／5 万円 ほかに賞状、記念盾

<高校生の部> 最優秀賞 1 作品 優秀賞 3 作品

最優秀賞	日本とアメリカを繋ぐ	基島 隆蔵	17 歳 ラ・サール高等学校 2 年
		きじま りゅうぞう	鹿児島県鹿児島市
優秀賞	なぜ私たちは伝統芸能を 継承するのか	小林 優南	17 歳 新潟県立柏崎高等学校 2 年
		こばやし ゆな	新潟県柏崎市
優秀賞	平和のためにできること	酒井 優太	17 歳 長野県中野西高等学校 3 年
		さかい ゆうた	長野県中野市
優秀賞	戦争はいったい誰が悪いのか	松本 明久	17 歳 神奈川県立釜利谷高等学校 2 年
		まつもと あきひさ	横浜市磯子区

○最優秀賞／図書カード 3 万円 ○優秀賞／図書カード 1 万円 ほかに賞状、記念盾

＜小学生高学年～中学生の部＞ 最優秀賞 1 作品 優秀賞 3 作品

最優秀賞	ささやかな優しさが大いなる 平和へ	平山 陽向	15 歳 名古屋市立山田東中学校 3 年
		ひらやま ひなた	名古屋市西区
優秀賞	「私は好きなことをやり続けた だけです。」	工藤 馨	15 歳 柏崎市立第一中学校 3 年
		くどう かおり	新潟県柏崎市
優秀賞	キーン先生と現代社会の 平和	辻村 直輝	15 歳 早稲田大学高等学院中学部 3 年
		つじむら なおき	横浜市港北区
優秀賞	大切なもの	服部 夏歩	15 歳 柏崎市立第一中学校 3 年
		はっとり かほ	新潟県柏崎市

○最優秀賞／図書カード 1 万円 ○優秀賞／図書カード 5 千円 ほかに賞状、記念盾
参加賞として応募者全員にポストカード 2 枚進呈

＜第 2 回ブルボン吉田記念財団文学・平和アワード特別表彰＞（略称：特別表彰）

柏崎市立第一中学校	<p>（授賞理由）</p> <p>ドナルド・キーン先生を題材・教材にして、授業の一環として独自の事前学習～センター見学を通じて文章化し、文学・平和アワードの作品応募に繋げていただいているとともに、作品自体に対し一定の評価基準をもって取り組んでいただいていることで、地域及び教育機関とセンターのあり方・関係性の一つの指針を示していただいた。</p>
-----------	---

＜選考委員＞（順不同）

- 宮田 亮平氏（前文化庁長官・元東京藝術大学学長・2023 年度文化功労者）
- 北嶋 藤郷氏（敬和学園大学名誉教授・「日本におけるドナルド・キーン書誌／ドナルド・キーンをめぐる人びと」著者）
- 工藤 美代子氏（ノンフィクション作家・「工藤写真館の昭和」「美智子皇后の真実」他著者）
- 南 加乃子氏（ブルボン吉田記念財団評議員、天青社代表・構成作家・番組プロデューサー）
- 大倉 政洋氏（ブルボン吉田記念財団理事・元柏崎市教育長）

受賞作品の概要と選考委員の寸評

●大学生・一般の部

□最優秀賞

高田 智子	100年後にも、梅雨残したい
-------	----------------

◎作品概要：キーンが一番心ひかれた季節は梅雨だった。雨をめぐるさまざまな言葉やイメージをつむぎ合わせ世界平和を祈る。

◎選考委員の寸評：

- 「雨」をキーワードに展開する流れは巧みで、最後まで一気に読ませてくれる。
- 雨をテーマにした他の日本文学作品などへも言及している。
- 読んだ人たちが新たなイメージを再認識する文章。応募作の中で特出している。
- 雨を愛でる時間に浸れる平和・幸せを原爆の「黒い雨」と対比させ、戦争の悲惨さと平和の尊さを訴えかけている。

□優秀賞

阿部 松夫	百年後の日本語のために
-------	-------------

◎作品概要：「100年後も守るべきものは日本語」というキーンのメッセージを掘り下げた86歳元国語教員の魂の訴え。

◎選考委員の寸評：

- ものすごい力作。百年後の言葉の可能性は、やはり文学にあるという思いにはキーン先生もうなづくことだろう。
- 過去から未来を手繰り寄せようとしているところが良い。
- 長い間日本語に興味を持って携わってきた作者の姿が滲んでいる。

□優秀賞

長嶋 俊介	ドナルド・キーン先生の島繋がり平和学・芸能学・文学
-------	---------------------------

◎作品概要：キーンの軍歴であるアッツーキスカレーイテ－沖縄－ハワイから、生涯を通じた島つながりをまとめた、佐渡に住む日本島嶼学会会員ならではの作品。

◎選考委員の寸評：

- 貴重な記録・資料として残しておきたい。
- キーン先生と島にこんなに結びつきがあるとは思わなかった。
- 着眼点にオリジナリティーがある。
- 島つながり、人つながり。平和も文化もつながりが基盤となって脈々と未来へつながっていく。

優秀賞

竹本 美穂	式年遷宮と日本人の死への意識
-------	----------------

◎ 作品概要：伊勢に生まれ育ち、式年遷宮で木遣りを続け見えてきた日本人というもの。キーンが日本人に対して感じた思いと重なる。

◎ 選考委員の寸評：

- キーン氏が愛したこの行事と関わり続けている竹本さんならではの人間味あふれる文章。
- これまでの実体験から伊勢神宮というきわめて日本的なテーマを美しく切り取っている。

優秀賞

難波 理恵	アジアと日本と私
-------	----------

◎ 作品概要：幼少時にアメリカで暮らし、日本人とアジア人という二つのアイデンティティーを意識した作者は、キーンの著書を通じて俯瞰的な視点を得る。

◎ 選考委員の寸評：

- キーン先生未発表の原稿の存在にも目は注がれる。キーン先生の思いを改めて知り無関心ではられない。
- 作品を読みながら、私もあの時ああったなと振り返る体験ができた。

● 高校生の部

最優秀賞

基島 隆蔵	日本とアメリカを繋ぐ
-------	------------

◎ 作品概要：日本とアメリカの高校生が文化や平和を共有できるオンラインプラットフォームを開発している作者。キーンは「文化の翻訳者」だった。

◎ 選考委員の寸評：

- 高校生でこんなことまでするのかという活動自体に驚いた。若い人同士がやる意義を感じた。
- 今の若い人らしい透明な視線で遠くを見て、ちゃんと描いており、文章も非常に良かった。

優秀賞

小林 優南	なぜ私たちは伝統芸能を継承するのか
-------	-------------------

◎ 作品概要：キーンとゆかりのある柏崎市に伝わる綾子舞の伝承に取り組む。なぜ自分は情熱を燃やすのか。キーン・センターを訪れ疑問は晴れ、継承への決意を新たにする。

◎ 選考委員の寸評：

- 地元の歴史ある綾子舞の伝承の決意とセンターが当地にあることの意味。
- 成長していくほどに伝統芸能についての深みを感じられていることがよく書かれている。
- 綾子舞を 500 年に渡って伝承することの意味と、キーン先生が日本文学を愛して生涯学び続けてきたことの意味は通底している。

優秀賞

酒井 優太	平和のためにできること
-------	-------------

◎ 作品概要：地元の満蒙開拓団を調べ、語り継ぐ活動を通じてウクライナやイスラエルに思いをはせ、平和の大切さをかみしめ、希望を持ち続けるよう訴える。

◎ 選考委員の寸評：

- 活動が多岐にわたっており、すごいと思った。そこに住んでいなければ感じるできないものをしっかり受け止めている。
- 身近なことを自分事として捉え、行動力もあるなと感じた。

優秀賞

松本 明久	戦争はいったい誰が悪いのか
-------	---------------

◎ 作品概要：近代の戦争において誰が悪人で誰が善人なのかという疑問が晴れない。殺傷したら罰せられるというルールが“バグってしまう”戦争をなぜ人類は続けるのか。

◎ 選考委員の寸評：

- 有史以来、答えの出にくい問題を問いかける姿勢がすばらしい。平和というものが、どれほど難しいかを改めて考えさせてくれた。
- 誰が悪いのか、負けた人がなぜ罰せられるのか、若い人が突いてくれたことに感銘を受けた。

●小学生高学年～中学生の部

最優秀賞

平山 陽向	ささやかな優しさが大いなる平和へ
-------	------------------

◎作品概要：平和を維持することは難しい議論ではない。コミュニティーでは当たり前の、お互いが歩み寄ることを考えてみて。平和とは人と人が共に心地よく暮らす心得なのだー。

◎選考委員の寸評：

- 読み取る力があって、深く受け止めて考えていることが分かった。
- キーン先生が戦禍での行動から学んだことと、フロリダに行った自分の家族旅行体験など、いろいろな方面から重ね合わせて考えている。
- 希望的で強い意志を感じさせる文章。

優秀賞

工藤 馨	「私は好きなことをやり続けただけです。」
------	----------------------

◎作品概要：キーンの一語を深く考え、まっすぐな日本文学への情熱を感じ取る。好きなものをやり続けるのはとても幸せなことだけど、いつか嫌いな日がきたら悲しい。

◎選考委員の寸評：

- 人によっては平凡だと聞き流す言葉だが、キーン先生がなぜそう言ったかを考えることによって、どんどんバックストーリーが増えている。
- 好きなことをやり続けることで、いつか嫌いになってしまうかもしれないって、自分のことかと思ひびっくりした。
- これからの作者の生き方への期待感を感じた。

優秀賞

辻村 直輝	キーン先生と現代社会の平和
-------	---------------

◎作品概要：キーンの考える日本の平和に興味を持ち、誹謗中傷、ヘイトスピーチ、ジェンダー平等など現在の日本の社会問題を考える。日本文学に触れる意味も自問する。

◎選考委員の寸評：

- 日本文学を理解することで日本人を理解することにつながる。日本文学を読むことが少なくなったことと、現代人にそれでは困るのではないかという警鐘を鳴らしている。中学生にして、こういうテーマを選ぶ知性と感性を感じた。

優秀賞

服部 夏歩	大切なもの
-------	-------

◎ 作品概要：キーンの日本文学との出会いは「源氏物語」だった。私にとっての「ハリーポッター」シリーズと同じではないか。視野を広げて一瞬の出会いを大切にしていきたい。

◎ 選考委員の寸評：

○「視野を広げて一瞬の出会いを大切にしていく」姿勢はとても大切である。

○源氏物語とハリーポッターを重ねているところが面白い。

＜第 2 回ブルボン吉田記念財団文学・平和アワード 応募状況＞

○応募期間 2024 年 4 月 3 日～9 月 17 日

○対象 大学生・一般の部 2000～4000 字 高校生の部 2000～3000 字
小学生高学年～中学生の部 1000～2000 字（写真・図解等は文字数に含めない）

○応募作品数および前回比較

	第 2 回	第 1 回	前年比	
	応募作品数		増減	伸長率(%)
大学生・一般の部	60	55	5	109.0
高校生の部	9	5	4	180.0
小学生高学年～中学生の部	46	100	-54	46.0
合 計	115	160	-45	71.9

○地域別応募状況

	区 分	応募作品数	地域別内訳 ※複数作品応募含む
大学生・一般の部	新潟県内	19	新潟 5、新発田・上越・長岡・佐渡 2、燕・十日町・聖籠・柏崎・胎内・三条 1
	新潟県外	41	東京 27、神奈川・三重・滋賀 2、茨城・群馬・埼玉・静岡・愛知・岐阜・岡山・広島 1
高校生の部	新潟県内	2	柏崎・刈羽 1
	新潟県外	7	長野 2、神奈川・千葉・石川・徳島・鹿児島 1
小学生高学年～ 中学生の部	新潟県内	44	柏崎(第一中学校)44
	新潟県外	2	神奈川・愛知 1
合 計		115	新潟県内：65 構成比 56.5% 新潟県外：50 構成比 43.5%

○審査方法

事務局 4 人による 1 次審査、審査員 5 人による個別の 2 次審査を経て、11 月 29 日、新潟市中央区の ANA クラウンプラザホテル新潟にて最終審査会を行いました。

（宮田亮平氏のみオンライン参加）

＜アワード関係 今後の日程＞

■ 第 2 回ブルボン吉田記念財団文学・平和アワード表彰式・記念講演会

日時 2025 年 3 月 8 日（土）

会場 柏崎市市民プラザ波のホール

お問い合わせ先

文学・平和アワード事務局(ドナルド・キーン・センター柏崎)

担当 佐藤

TEL・FAX 0257-28-5755

(～12/27 : 月・火除く 10:00～17:00)

(1/6～ : 土・日・祝日除く 10:00～17:00)